

農業情報

朝晩の気温が10度を下回り、寒さを感じる時期になりました。新型コロナウイルスは減少傾向にありますが、季節性インフルエンザが流行しています。手洗いうがいなどをして、体調には十分に気を付けましょう。

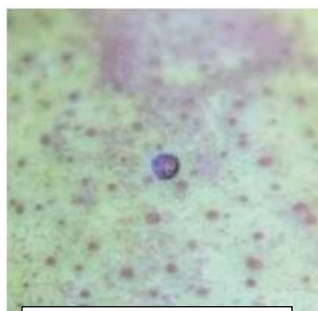
■秋果実について

ラ・フランス販売開始

今年のラ・フランスの「販売開始基準日」は前年よりも2日遅い、10月27日に決まりました。「販売開始基準日」はおいしい果実が生産できる適期に収穫し、適切な産地追熟を行った期間を考慮して設定されています。選果の徹底と追熟期間に注意して、おいしいラ・フランスを消費者に届けましょう。



胴枯病の初期病斑



胴枯病の初期病斑

胴枯病・輪紋病の
初期病斑を見逃さない！

りんご「ふじ」収穫のポイント

平年と比較して1果重が小さく、硬度・糖度が高く、デンプンの消失（ヨード反応）が早い状況です。早生・中生種同様に果肉先行となり障害果が発生する可能性があるため、着色よりも地色・食味を重視してもぎ遅れる事のないよう、こまめに収穫しましょう。

りんご黒星病・腐らん病対策

腐らん病（黒星病）対策として、収穫後（休眠期）に「ベフラン液剤25」を必ず散布しましょう。黒星病の発生が多い園地では越冬菌密度を下げるため、耕種的防除として「DL消石灰」（100kg程度/10a）を散布しましょう。また、被害落葉は翌春の伝染源となるため、すき込んだり、集めて園地外に搬出するなど適切に処分しましょう。

防除時期	対象病害虫	薬剤名	倍数	使用回数
休眠期	腐らん病 (黒星病)	① アビオン-E (展着剤)	2,000 倍	—
		② ベフラン液剤25	1,000 倍	休眠期 6回以内

■野ネズミから果樹を守る

野ネズミが住みにくい環境作り

野ネズミが侵入、定着しないよう、園地や樹周囲の清掃を行い、作物残さを処分します。また、隠れ場所になるような資材は撤去しましょう。

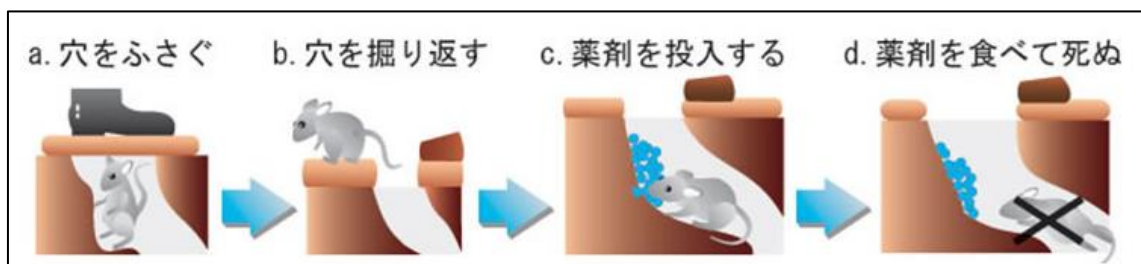
苗木・幼木の保護

苗木や幼木は、積雪が予想される高さまで、幹を金網で覆い食害を防ぎましょう。（消雪後に外す）

野ネズミの密度を下げよう

被害を抑えるにはネズミの個体数を減らすことが最も重要です。殺鼠剤や毒エサによる駆除を行う場合は、ネズミが出入りしている「生き穴」に投入することで効果が上がることが出来ます。

「生き穴」の特徴・・・穴がきれい、入口の周りに草が生えてない
前日に穴を埋めて翌日開いているのが「生き穴」



大塚薬品工業株式会社 HP より引用